

事業報告書

団体名： 自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会

1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) <u>ステップアップ事業</u> (3) 市民連携事業
2. 事業名	地域の資源再発見～おらがまち・むらのすごいところ大発見～
3. 実施場所	第三かめおか作業所、亀岡市立人権福祉センター、保津文化センター等
4. 実施期間	平成28年7月10日 ～ 平成29年3月18日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)

◇7月30日(土) 午後1時半～午後4時半 場所 第三かめおか作業所 参加者：35名
自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会 二周年記念フォーラム
基調講演 「これからのコトおこし ～新たな地場産業をつくろう～」
ゲスト講師 立命館大学産業社会学部 教授 景井充

◇8月31日(水) 午後6時～午後8時 場所：亀岡市立人権福祉センター 参加者：32名
第14回 おらがまち・むらのすごいところ大発見～宮前町神前 NPO法人チョロギ村
村長森隆治さんのお話～
ゲスト講師：NPO法人 チョロギ村 村長 森隆治

◇10月15日(土)～16日(日) 竹岡醤油 第三回秋の蔵祭り
◇10月16日(日) ハートフェスタ2016出展
◇10月22日(土)～23日(日) 亀岡神前 チョロギ村オープニング出展
◇10月31日(月) 午後6時～午後8時 場所：第三かめおか作業所
第15回 おらがまち・むらのすごいところ大発見 ～教育体験旅行・農業体験事業等に取り組む
京都丹波・食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事のお話～
ゲスト講師：一般社団法人京都丹波・食と森の交流協議会 専務理事 廣瀬孝人

◇11月12日(土) 蕨田野町人権フェスティバル出展
◇11月13日(日) 犬甘野秋の味覚フェスティバル・宮前町フェスティバル・保津町文化祭出店
10月～11月 各地に販売会に出展

◇12月19日(月) 午後6時～午後8時 場所：第三かめおか作業所 参加者：28名
第16回 おらがまち・むらのすごいところ大発見～日本中の田舎に「野人」を増やす！ 京都美山
野生復帰計画 青田真樹代表取締役のお話～
ゲスト講師：(株)野生復帰計画 代表取締役 青田真樹

◇3月17日(金)午後7時半～午後9時半 場所:亀岡市立人権福祉センター 参加者:3.5名
第17回おらがまち・むらのすごいところ大発見 イン蔞田野町 ～地域づくりからコミュニティビジ
ネスへ 秋津野ガルデンの取り組み～

ゲスト講師 農業法人株式会社秋津野 木村則夫 代表取締役専務

◇3月18日(土)午前10時～正午 場所:保津文化センター 参加者:27名

保津町まちづくり講演会(第18回おらがまち・むらのすごいところ大発見)

ゲスト講師 農業法人株式会社秋津野 木村則夫 代表取締役専務

保津町のまちづくり調査中間報告(NPO法人ふるさと保津)

6. 成果

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と
対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記
入してください。

自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会は、亀岡地域の自然を守る等の中山間地特有の課題を障害
ある人たちの仕事づくりを通して解決することが出来ないかとの思いから、地元自治会の宮前町・蔞田
野町・保津町、そしてふるさと保津、(株)竹岡醤油等の方々共に設立した。亀岡地域の中山間地では、
高齢化による農業や林業の担い手不足、耕作放棄地の増加、鹿や猪の鳥獣被害等の多くの課題があり、
今後ますます私たちの生活に直接関わってくる事が予想される。その課題を障害のある人たちの新た
な仕事おこしへ繋げ、鹿の佃煮等の商品開発から、小さな経済を動かし地域活性化へ進めていこうと計
画している。地域協議会で設立から特に力を入れたのが、「住民の創造性の発揮」である。亀岡地域
に暮らす私たちは、その地域の専門家である。しかし亀岡地域に暮らす私たち専門家は、あれがな
い、これもない」とないもの探しは得意でも、地域の「良いところ・すごいところ」を見つけるこ
とは不得手である。おらがまち・むらのすごいところ大発見の企画では、住民が創造性を発揮して
地域活性化に取り組むことで生きがいを見出し、自分たちが住んでいる亀岡に「すごいところ」を
たくさん見つけていこう。そして地域資源を再発見した「すごい人たち」とネットワークを組む、
亀岡の地域活性化に繋げていこうと計18回企画を継続してきた。具体的には亀岡や南丹地域に暮
らす地域住民が、ちょっとした工夫とアイデアを凝らし楽しく活動する様子を報告していただき、
地域住民と共に議論を重ねてきた。宮前町神前のチョロギ村の取り組み、南丹市での農家民泊の取
り組みなどは住民の協働が大きな夢や生きがいを生んでいく、たくさんのヒントと示唆を頂いた報
告が多くあった。どの地域でもまた誰でも、「みんなと協力したら、楽しい活動が出来るのではない
か。地域が活性化するのではないか、と自信が芽生えてきた。3月には、和歌山県田辺市秋津野ガ
ルデンの約10年に及ぶ「地域づくりからコミュニティビジネスへ」をテーマにその挑戦の様子を学
ぼうと企画した。初めて亀岡・南丹地域以外のゲスト講師であり、全国的にも先進事例である秋津
野ガルデンでは、自分たちの取り組みに引き寄せられるかどうか不安もあった。しかし当日の講演
で強調されたのは、田辺市の秋津野ガルデンも小さな地域づくりから積み上げてきた。住民自治組
織、公民館活動、地域資源の発掘、地域行事の運営等々。地域づくりという根っこは太く、細根は
多く、根域が広いほどコミュニティビジネスの樹は大きくなり、実りも多くなる。そして根を枯ら
さないためには、水や栄養(活動)をやり続ける必要性があること等が、ゲスト講師から強調され

た。地域ごとで根の張り方が違うが、私たちの実情に照らして活動を進めていくことが大切だと改めて学ぶことが出来た。特に共催した保津町の取り組みには、ゲスト講師から一定の評価を頂き、自信とこれまでの活動に確信がもてたと多くの方々から感想が寄せられた。

7. 協働の効果	事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

～自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会の加盟団体内ならびに新たな繋がりのおかげ、平成28年度特徴的な報告について～

①宮前町神前 チョロギ村との連携

おらがまち・むらのすごいところのゲスト講師以来、連携を続けている。10月からのチョロギ村のオープニングイベントも参加し、今後とも地域住民と一体となったチョロギ村の取り組みには多くの学びがあった。このチョロギ村の取り組みを「亀岡のすごいところ」として、一層市内市外へ発信をしている。

②一般社団法人京都丹波・食と森の交流協議会との連携

農家民泊はじめ、食と森の交流協議会とも連携を進めてきた。亀岡地域では農家民泊の活動がまだまだ知られていない状態でもあり、発信をどんどんと行い今後とも交流を続けていきたいと思う。

③NPO法人ふるさと保津・保津町との保津藍栽培の取り組み

保津町で進められている保津藍の栽培取り組みに、平成28年度から亀岡福祉会も参画している。この保津藍は戦前の京都品種の子孫から藍を栽培し、ほづあい研修所が服飾や小物に藍を染め込んでいる。平成29年度もふるさと保津・ほづあい研修所・保津町に、同じ地域協議会メンバーである亀岡福祉会も一緒にその活動に継続して加わる予定である。

④竹岡醤油蔵まつりへの運営協力（平成28年度で3年目）

⑤葎田野町、宮前町、保津町の各種イベント等には加盟団体として、亀岡福祉会が起点となりお互いに運営協力を実施してきた。

8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
----------	--------------------------------------------------------------

平成29年度以降は、この地域協議会の設立趣旨でもある高齢化による農業や林業の担い手不足、耕作放棄地の増加、鹿や猪の鳥獣被害などのたくさんの課題を、障害のある人たちの新たな仕事おこしに繋げていく。鹿の佃煮等の商品開発を継続しながら、小さな経済を動かし地域活性化へのに取り組みを更に進めていく。

次に成果のところと重複するが、私たちの活動の基本は小さな地域づくりからの積み上げを継続し、特に地域資源の再発見や地域の暮らしの誇りをこのおらがまち・むらのすごいところ大発見として企画してきた。さらに継続し、亀岡地域の根っこを太く、細根は多く、根を張る地域を広げることをしっかりと肝に銘じ、根を枯らさないためにも、地道な活動をやり続けていく。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

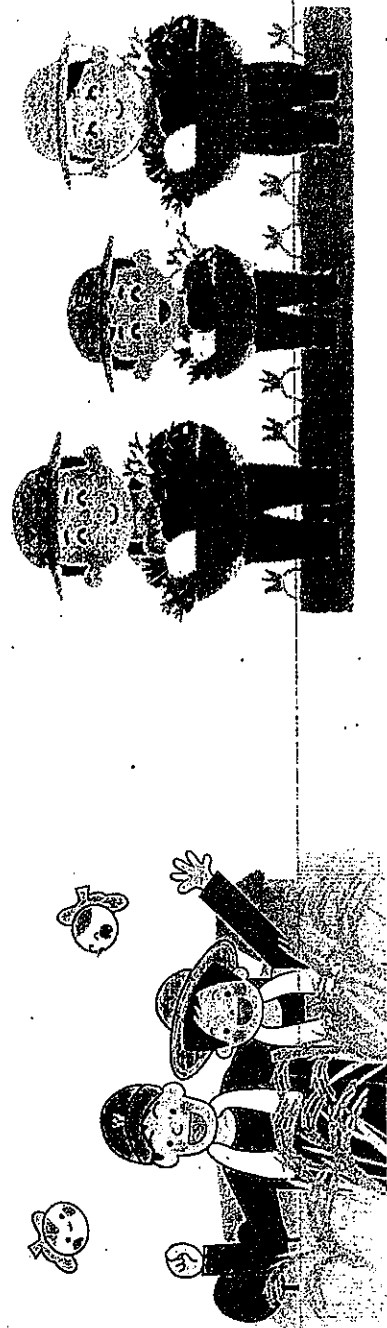
第15回 10.31 おらがまち・むらのすこいところ大発見

～教育体験旅行・農業体験事業等に取り組み 一般社団法人京都丹波・

食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事のお話～

農村民泊などの教育体験旅行を柱とした都市・農村交流の活動に取り組んでいる、京都丹波・食と森の交流協議会です。京都丹波ブランドの全国への発信、地域の活性化や交流定住人口の拡大への活動を展開中です。今年4月からは一般社団法人への組織体制も変更し、精力的な活動を続けられている廣瀬専務理事のお話から、共に学び合いたいと思います。

尚、この事業は亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業として取り組んでいます。



とき：10月31日（月）午後6時～午後8時

場所：第三かめおか作業所（亀岡市保津町上火無 28-86）

講師：一般社団法人 京都丹波・食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事

お問い合わせ先：事務局 亀岡市釋田野町佐伯大門30-1 かめおか作業所内 24-2596

第17回・第18回おらがまち・おらのすごいところ大発見

～地域づくりからコミュニティビジネスへ！秋津野ガルテンの取り組み～

農業法人株式会社秋津野 木村 則夫 代表取締役専務のお話

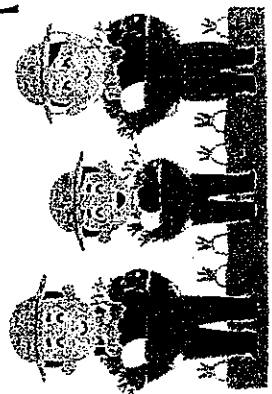
秋津野ガルテン（和歌山県田辺市）は、地域住民が出資し経営する都市と農村の交流を目指すグリーンツーリズム施設です。旧小学校の跡地で、地元のお母さん方がつくるバイキング料理の農家レストランと宿泊施設、お菓子体験工房、みかん作りの歴史を紐解いたみかん資料館等、コミュニティビジネスの場として運営されてきました。現在は田辺地域の農業・商業等と連携し、地域住民自らの地域づくりの取り組みが、地域全体に変化をもたらしました。この秋津野ガルテンの取り組みを学び、亀岡での地域づくりを考えたいと企画いたしました。17日（ミルキーウェイ）・18日（保津文化センター）と同じ内容で2回開催いたします。どなた様でもお気軽にご参加ください。

どなたでもお気軽にご参加ください！

日時と場所 【第17回】3月17日（金）午後7時30分

亀岡市立人権福祉センター（ミルキーウェイ）

【第18回】3月18日（土）午前10時 保津文化センター



講師：農業法人株式会社秋津野 木村 則夫 代表取締役専務

主催：自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会 かめおか作業所内 24-2596

